

給食センターの健全な運営を図る為の調査を求める請願書

【請願の主旨】

給食センターが、平成19年に直営から民間へ委託業務に変わり、8年の間で2業者（A社、B社）が業務を行ってきました。平成23年10月～翌年1月にかけてB社は異物混入事件を起こしたため、新聞記事に取り上げられ、町は契約の解除を含め、嚴重注意を行ったことは周知の通りです。そのため、町は以前委託していたA社に業務を委託して現在に至っています。

しかしながら、A社は、下記のような事象を起こしており、今後の健全なる運営を図るためにも、事実に基づいた調査をお願いするものです。

芦屋町は直営の頃、役場の職員が給食業務に専念し、責任感を持って業務を行っていたと推察します。

給食センターの業務は、子供たちの命に直結するものであり、保護者の絶対的な信頼と信用は必要です。

しかし、民間への委託は、直営と違って、利益を追求するあまり、経費削減と労働条件の低下をもたらし、安心、安全に食を提供するという本来の業務が果たせなくなるといわれています。

特にA社は、福岡県内でも大手の業者であり、多数手掛けている現場の中の1つでしかないと言う安易な考えで行っている様に感じられ、その結果、下記のような問題が生じているものと考えます。したがって下記の項目について、実現していただきますよう請願書を提出致します。

【請願項目】

下記項目について、議会において調査されることを求めます。

1. 平成26年10月、異物混入の事案があり、正確な経緯及び起こり得た事実。
2. 平成27年2月、ノロウィルスが発生したにもかかわらず、その際の教育委員会による調査および原因究明が十分に果たされておらず、しかも保護者への説明責任が不十分である。その点について明らかにすること。
3. 平成25年～平成26年にかけて、パワハラ行為で退職に追い込まれた人が数人おり、その事実についての調査を求める。